

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会

ニュース

No. 253 2018年 2月発行

新春クイズの 当選発表

正解は

「人に**優** **し** **い** **O** **B** 会」でした。

今回は1月25日に締め切り、最終的には過去最高の457通の応募がありました(正解412)。応募頂いた皆さんに御礼を申し上げます。

1月29日に厳正な抽選を行った結果、次の方々の当選を確認しましたので発表します。

おめでとうございます!

1等 1万円のびゅう商品券 (3名)

- ① 小関 啓司(東京) ② 和田国四郎(横浜)
- ③ 清水 専治(長野)

2等 5千円のびゅう商品券 (5名)

- ① 吉田輝登志(盛岡) ② 鈴木 辰宏(仙台)
- ③ 和田 勲(東京) ④ 松村 宗雄(高崎)
- ⑤ 細貝慶一郎(新潟)

3等 3千円のびゅう商品券 (10名)

- ① 遠藤 弘(盛岡) ② 鈴木利喜夫(秋田)
- ③ 武田 富男(仙台) ④ 前野 憲治(水戸)
- ⑤ 田代 多聞(千葉) ⑥ 山川 良孝(東京)
- ⑦ 荻野 正男(横浜) ⑧ 山口 謹一(高崎)
- ⑨ 林 和弘(八王子) ⑩ 川澄 久夫(大宮)

特別賞 1千円の図書カード (15名)

- ① 天瀬 幸次(盛岡) ② 保坂 正二(秋田)
- ③ 草薨 講成(秋田) ④ 佐藤 典夫(仙台)
- ⑤ 東海林力(仙台) ⑥ 鹿内 正(水戸)
- ⑦ 遠州 一郎(千葉) ⑧ 村越 安雄(東京)
- ⑨ 安達 修(東京) ⑩ 浅野 講平(横浜)
- ⑪ 杉山 晃(高崎) ⑫ 渡部 憲三(新潟)
- ⑬ 近藤愛一郎(長野) ⑭ 馬場 正男(八王子)
- ⑮ 村松 茂正(大宮) (以上 敬称略)

「働き方改革国会」始まる

重要法案で激突必至!

国会傍聴と3000万署名を成功させよう

安倍首相は召集された通常国会の所信表明で、政策課題で「働き方改革関連法案」や「IR実施法案」などの重要法案の成立に全力を上げると共に、憲法改正についても「国民的な議論を一層進める」と明言し、来年度の国民投票の実施に向けた強い決意を表明しました。

注目の対決法案

与野党の論戦が激しくなると予想される重要法案は、連合や労働団体が反対している事実上青天井の「残業時間」を罰則付きの上限規制を設けるとした法案や、高収入の専門職

第196通常国会が首都圏に4年振りの大雪が降った1月22日に召集され、6月20日までの150日間に亘って、政府が提出する予定の64法案を巡って、与野党による激しい論戦が始まりました。また野党が求める未解明の「森友・加計学園問題」や、憲法改正の国会発議を急ぐ改憲勢力らによる衆参の「憲法審査会」の動きも活発化する。これらに対する議論も激しくなるものと予想されます。

らの労働時間を規制からはずす「脱時間給」制度などの法案を、一括8本の改正法案に束ねて提出しようとしている「働き方改革関連法案」です。また自民党や維新の会などが積極的な「IR実施法案」も、ギャングル依存症が問題になっており、日本退職者連合は、今日まで一貫して反対の行動を取り組んでいます。

その他2020年の「東京五輪・パラリンピック」を前にして、公共施設や飲食店での受動喫煙対策を強化する「健康増進法改正案」を巡っても、与野党の論戦が予想されます。その一方で自民党を中心とした憲法改正を急ぐ改憲勢力が2/3議席

を占める今の内に、衆参の「憲法審査会」での議論を進め、年内にその内容を提示して、来年度中に「国民投票」を実施するという動きが、一挙に進もうとしています。この国会開会中にどれだけこの流れが加速するかによって、「国民投票」実施の日程に影響してきます。

また野党が求めている「森友・加計学園問題」も、法案審議と並行して行われます。その他相次ぐ一流大企業の不正事件や、国費3兆円を投入したJR東海のリニア新幹線建設を巡る談合事件等も、是非今国会の場で解明する必要があります。

国会傍聴と署名活動に全力を

本部OB会は、この196通常国会を注目しています。過労死をなくすためには、残業を無くしても労働者が生活できる内容のものにしなければなりません。私達OB会は、現役の労働者によって下支えされている社会保障制度を充実させるためにも、野党の奮闘に期待し連合等労働者団体の取り組みを支援していきます。具体的には日本退職者連合と共に「国会傍聴」を行って、しっかりと野党議員による政府追及を応援していきます。

またその一方で、自衛隊を憲法9条に明記させないために、「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」が呼びかけている3000万人署名活動の成功に向けて全力を上げますので御協力をお願いします。

現役の「エルダー組織化」を支え 支部OB会活動を活発化しよう!

支部との連携を密にし、 OB会組織を強化・拡大しよう

本部OB会は昨年の定期総会で、「OB会員の減少と高齢化」という時代の到来に備えて、「支部OB会の強化」と云う方針を決定しました。そして、昨年8月に四ブロックに分かれて「支部OB会代表者会議」を開催して、これからの活動や組織強化に向けた意見交換を行ってきました。

一方中央本部は、JRを定年退職してエルダーになる時に、「組合加入継続」の手続きをしないで「組合脱退」をする組合員をどう減らすかが長年の課題となっていました。

その為に、中央本部は昨年12月に「地本エルダー担当者会議」を開催し、本部OB会代表も参加して一緒に議論をしました。

その会議では、「エルダー組合員の労働条件の改善」の報告があった後、各支部がOB会の協力を得ながら「エルダーの組織化」に全力を上げる事が決定されました。

この決定を受けて本部OB会は、支部とOB会の協力が整った箇所か

ら取り組みを開始する事にし、支部役員の手助けになるように「JR東労組OB会・入会のご案内」パンフと、保険料の団体割引の特典を記した「アフラック保険のご案内」パンフを関係個所に送る準備を始めました。

昨年のブロック別3地本OB会の交流会から、支部OB会の会員の姿が目立つようになりました。また支部OB会主催やシニア会との共催で「レクレーション」を開催している報告も多く寄せられるようになりました。

本部OB会は、今後OB会組織の拡大のため、支部と連携しながら、一人でも多くのエルダー組合員にOB会に加入してもらい、より楽しいOB会にしていきます。



支部間交流で囲碁を楽しむ会員

わが町の 有名人

高崎地本OB会

と親しまれている高崎支部OB会
の松村宗雄さんを紹介します。

松村さんは、現職時代には地本
運車部の会長として、長年組合
運動を牽引してきました。

森びとへの関わりは、JR東
労組本部の「森づくり推進委員
会」がきっかけだったそうです。
JRを退職後も、どんぐりから

今月は、森づくりに情熱をそそぎ、仲間から「森びと仙人」

苗を育てるポット苗の草刈り・散水・植え替えの作業を、毎年黙々と繰り返して行っています。

また高崎地本OB会がこれからの老後運動を、「健康に気遣いながら目標を

森びと仙人と呼ばれて

持って楽しく生きよう」と発信したのを機会に、70の手習いでピンポンと竹細工を始め、楽しい日々を過ごしています。

足尾の森づくりに関わって実感



したのは、「破壊された自然を取り戻す事がいかに困難な事か」と、いうことです。

「地球環境破壊・温暖化に

少しでもブレーキを掛けられればと、そんな思いを込めてもうひと踏ん張りしてみますか」と少々はにかみながら、内秘めた思いを語ってくれた「森びと仙人」の背中がやけに大き見えしました。

(前橋市在住・松村 宗雄・72歳)

日本退職者連合が 「2018年新春の集い」を開く



挨拶をする人見会長

1月16日、日本退職者連合の「2018 新春の集い」が、連合会館の会議室で開催されました。

この集いには、中央単産や関東ブロックの組織代表者の外に、来賓として連合

や中央労福協などの関係団体からも参加がありました。

また政党からは、統一会派を巡って政党間での綱引きが続く立憲民主党や、民進党、希望の党と共に社民党も出席し、初めてテレビカメラも会場に入りました。JR総連OB連絡会からはJR東労組と貨物労組のOB会から5名が参加しました。(参加者は総勢150名)

主催者の人見会長は、「社会保障制度の充実のために、高齢者の課題を積極的に発言して行く。直ちに政策・制度要求の要請行動を取り組む」と力強く述べました。

その後参加者は、お酒を片手に単産、地域を越えて懇親を深めました。

新生宇都宮支部OB会が 再建報告に本部を訪問

1月17日午後、昨年12月9日に「支部OB会再建総会」を開いた大宮地本宇都宮支部OB会が本部を訪れ、支部OB会の再建報告をしました。

この日本部を訪れたのは、「再建総会」で新たに選出された雨谷会長と生沼副会長で、大谷地本OB会長と佐川支部委員長も同行しました。

本部OB会からは古川会長を始め5名の役員と、OB担当の奥山副委員長が出迎えました。

古川会長は支部の指導に感謝しながら、「長い間本当にご苦労様でした。早くブランクを取り戻し、OB会員のために奮闘して下さい」と新役員に温かい言葉をかけました。

J R 東労組本部OB会 第22回定期総会

* 日時 2018年4月20日(金)12時～

* 場所 JR東労組本部大会議室

先を見据えた活動方針を
みんなの力でつくり出そう!